

**アテインクパエ幼稚園のための  
2教室、事務室、物置とトイレ付の建物建設  
第一作業報告  
2022年12月21日**

2022年10月13日の早朝に私達はカラヴィを出発し、アンテインクパエへ向かいました。私たちは地元の人たちを13時の全体会合に招待していました。けれども、さまざまな障害から私達は二時間もおくれてアンテインクパエ小学校に到着しました。小学校校長と幼稚園園長および親代表会会員は私達を待っていました。私達は謝りました。皆さんは私たちが来たことを喜んでいました。私達がひょっとしたら、計画を変更したのかと気をもんでおられたのです。

契約書が朗読され翻訳されました。契約に関するさまざまな質問や地元の人々の義務についての回答が済み、賛否が問われました。それに続いて私達は建設用地、材料置き場、そして作業員の宿泊場を見て回りました。アテインクパエのみなさんは砂は村にあると言いました。私達はその砂の質を観察すると、それは荒い粒でしたので、レンガを作るのに理想的でした。私達は村のみなさんに、その砂を学校へ運んでくれるように頼みました。ベナンの援助会会長、購入担当者と私は建設材料を購入するためにダッサへ向かいました。



夜の9時になってやっと板材を見つけました。値段を支払い、明朝、三輪車で受け取りにくると約束しました。翌朝7時に購入担当者が三輪車の数人と会うために出発しました。彼はアテインクパエまで三輪車の運搬人に付き添いました。援助会会長と私はセメントと鉄材をさがしましたが、グラスエでやっと見つけました。そこからアテインクパエまでは遠いので、トラックに満杯にできるほどの、セメント20トンと鉄材2トンを即、買い入れました。それから建築

現場を計測して紐で正確な場所を規定するために、アテインクパエに戻りました。その作業が終わったと思ったら猛烈な雨が降り始めました。私達はセメントがうまく運送されるか心配しました。

トラックは夜遅くアテインクパエの近くに着き、その運転手が電話をかけてきて、雨のせいでアテインクパエへの道路をトラックでは通れないから、アコフォジュレで下ろすと伝えました。私達は積み荷を下ろす手伝いができる作業員を探しました。翌朝、三輪車がセメントと鉄材をすこしずつアテインクパエへ運送し始めました。

建設資材が現場に着くや否や、時間を失わずレンガ造りが始まりました。鋳物師は鉄芯を造り上げました。村人たちは建物の基礎穴の土を掘り出しました。



其の後アテインクパエの幼稚園の建物はすぐに出来ていきました。地方役長が毎日現場へ来て、住民に自分から発破をかけていました。







建物建設にあまり人手が要らなくなると、村人たちはトイレ用の穴掘を開始しました。地方役長は青いチェックの服をきていつもその真ん中で作業していました。

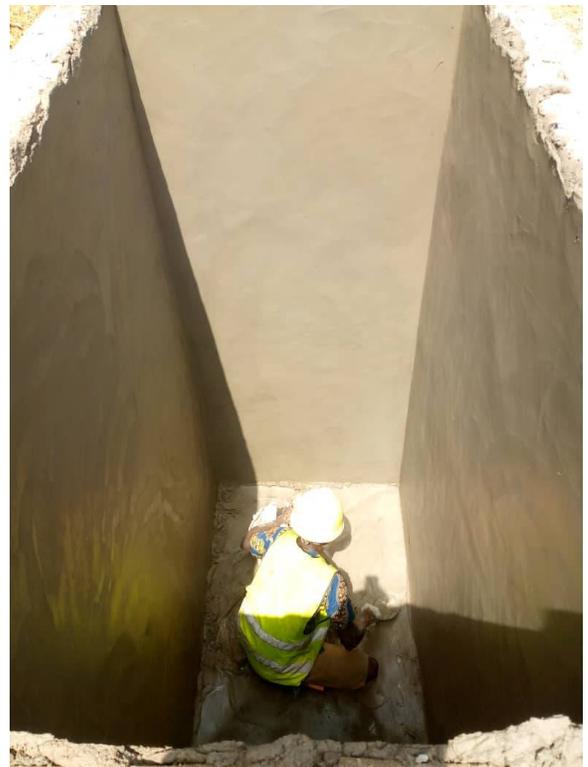


1, 5メートルの深さで、すでに水が上がって来ます。



トイレの壁が出来上がり、内部表面をシリカライトで塗ってあります

トイレの穴は閉じられ、その上に小部屋が建てられます



壁が乾燥してから、屋根が据えられます。



わが建設チーム、購入担当者に感謝します。みなさんは困難な状況の中で素晴らしい仕事を行って下さいました。アンテインクパエの皆さまや、特に村役長の、このプロジェクトにそわれた楽しい姿に感謝します。

“Fly and Help”のみなさま、大金の御寄附をなされた皆さま、西アフリカ教育会、そしてドイツ発展援助省のみなさまに感謝いたします。皆さま方に喜びに満ちたクリスマスと、よき新年をお祈り申し上げます。

心をこめて！

當田アストリット